

2013年度 EV キャビンスクーター開発記

小泉真也

●要約

近年、環境問題への関心が高まる中で、自動車メーカーや研究機関のみならず、地域の中小企業などでも電気自動車を開発する事例が増えており、それぞれの計画が注目を集めている。本稿は、稚内北星学園大学において、個人プロジェクトとして進行しているEV（電気自動車）キャビンスクーターの開発について、2013年度の進捗を報告するものである。

筆者のプロジェクトは、電気自動車の用途を、稚内市のような地方の中小自治体において最適化することを重点目標と定めた。具体的には、低価格で、環境性能を追求し、そして十分な航続距離を満たす仕様としている。このコンセプトは、「まち」のインフラに新規の投資を必要とせず、地元で造り、販売し、そして維持することを実現する活用モデルを喚起することが期待される。

●キーワード

電気自動車

環境性能

スモール・ハンドレッド